©Ko Yamada & Breaker Project

現在形の昔

なるへそ新聞ファン増加

思い出はニュースだ

西成なるへそ新聞社(大阪市西成区)は三月末同紙の創刊を発表した。西成区で芸術活動を展開するブレーカー・プロジェクトとの共同企画によって生まれたこの独創的な新聞は、地域に住む人々の記憶を頼りに「西成の今昔」を新聞紙上に街の風景として再現して行く。一つ一つの記事は紙面上にある家や区画の様に扱われ、街の変化同様新しい記事を入れる際には古い記事を切り取って取り壊し、少しずつ時間をかけて記事が差し変わって行くというユニークな形式だ。人が人に話を聴き、手作りで進していく「手書き」の新聞。個人的な思い出話を、それが何年前のものでも新聞記事として現在の事のように扱うことで新旧の家々やそこに住む人々の記憶が入れ子の様に混在するリアルな都市の姿をこの新聞は体現する。同紙編集長山田亘氏は語る。「同社は一般参加の記者を公募中。参加する記者達の取材の過程そのものが人から人への歴史の橋渡しともなっていく。

なるへそ記者

「西成なるへそ新聞」は新規の記者を広く募集している。忘れる事の出来ない大きな戦争体験ですら徐々に個人のディティールを失って単なる「歴史の一ページ」となって行く現在、この街に住む人々の生きて来た記憶が気づかない内に消えていってしまう前に、出来るだけ多くの方々から「暮らしの体験談」を聞き出していただきたいと同社広報の村田仁氏は語る。時空間を超えて街の移り変わりの姿を一緒に作っていく「なるへそ記者」には報道腕章とメモ帳が支給される。年間を通しての参加から、数回や一回限りでの参加も可能だ。

なるへそ大展覧会

昭和八十九年(平成二十六年)二月十五日(土)から三月二日(日)にかけて、美術家山田亘(こう)さんの「西成なるへそ新聞」プロジェクトの始まりから発展までの全体像を報告する大規模な展覧会が行われる。会場は大阪府立江之子島文化芸術センター[enoco](えのこ)、主催はブレーカープロジェクト実行委員会。会場では号外二・六(ふろ)号の販売も計画中。同会場では平行して美術家・呉夏枝(お・はじ)さんの「編み物をほどく/ほぐす」ワークショップからの展示も行われる。編み物の展示は二月十六日から三月九日まで別会場K1oku手芸館「たんす」(山王)でも展示される。

やわらか頭で発明豆腐

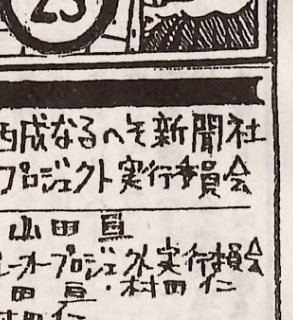
田村豆腐製造所の田村さんは18才で若くして独立した際の借入金の金利年60%に打ち勝つため様々なアイデアを繰り出してきた。起業五年で一般に知られていない高級メニューだった料亭豆腐の開発に成功、市南部の同業者の店にショーケースを貸出し販売し好評を博した。特許も申請したが模倣商品も続出。新商品として玉羊かんをヒントにゴムに玉子豆腐を詰め、列車のお供と考え出すが、日持ちと揚枝で指すと汁が飛び散る問題を解決できず断念。次は具材入りのアルミ鍋をコンロにかけるだけのすき焼き鍋セットを開発、好評で主力商品となり大阪中のスーパーから見学が押し寄せている。更に進化した、ひもを引き着火して温める湯豆腐セットは確実な着火に苦戦中だが、発明豆腐屋田村さんのアイデアとやる気はまだまだ尽きない。

銭湯学校で健よく遊びよく学べ

入船温泉三代目ディーン君(六歳・萩之茶屋小一年)は銭湯が休みの月曜、近所の友達に銭湯を無料開放している。特に夏場は市営プール状態で、灼熱の都会でのバカンスを提供している。遊びの天才ディーン君たちは、潜水時間を競ったり、水掛けをしたりと浴場内は子どもらの歓声がこだまする。だが遊びだけでなく、勉強もするのが彼らのスタイル。燃料の重油の鉄扉が黒板、売りもののラムネの木箱が机や椅子となる。そして、チョーク片手に授業をする先生役は、ディーン君の美人姉妹(十三歳と九歳一)。地元の東入船町の人々に愛される銭湯でありたいと先々代の祖父が名づけた「入船温泉」は、いつか町名が変わっても、変わりなく地元の人々に愛されていくだろう。

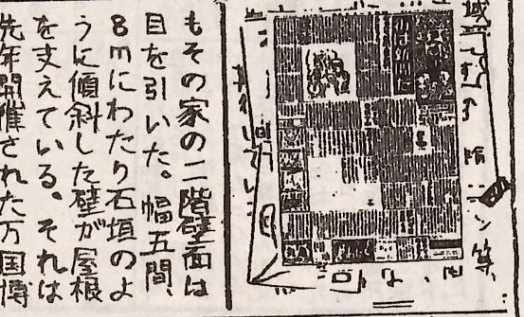
新築の進歩と調和

外装工事を終えた物件を仰ぎ見て永岡芳弘さん(31)は感慨深げだ。父が興した工務店を兄弟と二人で継いで三年、設計施工を一貫して任された何軒目かの新築住宅。二階建てが軒を連ねる北門通りの中でもその家の二階壁面は目を引いた。幅五間、8mにわたり石垣のように傾斜した壁が屋根を支えている。それは先年開催された万国博覧会のパビリオン・ソ連館に想を得たものであった。100mを超す主柱と山嶺のごとくそびえる紅い壁。その威容に万国博覧会を訪れた永岡さんは圧倒された。「このド迫力を自分の建築でも表現したい。」そんな思いをこの新築住宅に込めた。色は無難な茶系に抑えたため、すぐにソ連館を連想する人はいないだろう。実は施主にも発想の源までは伝えていない、それでも今の自分の思いが詰まっており、芳弘さんには、これが後々まで忘れられない物件になりそうな予感がしていた。



千変萬化自然魅力

自然界は一瞬も停止不動と言うことはないのである。常に変化、色々の形を変え所を移すと言う点からすると、不動と言うことはこの物的世界には見当たらないのであり、常に動いている。時間と空間さえも常に変化していると言えよう。千変万化の状態で動いている点である。この様に地球は常に変化することによって、人間も精神状態と肉体とは常にこの変化に合わせて喜怒哀楽の精神状態と肉体の成長とが性体に合わせて常時変化していると言えよう。時間は一瞬も不動はない。身体も成長と衰退は一瞬も許されない。自然界の魅力は、この生物と自然界の変化があって魅力的な生命体形を造っているように思われることが何より大切な事と言えよう。



発行:西成なるへそ新聞社
ブレーカープロジェクト実行委員会
発行人:山田亘
編集:ブレーカープロジェクト実行委員会
山田亘・村田仁
印刷:村田仁

産直のおいしいお米とお袋の味
お食事処 ことぶき
昭和二〇年 創業六五年
太子二ノ三ノ五

社会福祉法人 山王みどり会
山王1-6-5

ゆ
入船温泉
萩之茶屋1丁目6-3
クリニックルス
天然温泉風呂
うたせ風呂
水風呂
電気風呂

Kioku 手芸館 たんす
開館日
12月 11・12・19・21・26日
山王1-11-5(元・鈴木タンス店)

山野花店
山王2丁目13の2

大阪市現代芸術創造事業
ex・pots 2011-2013
Breaker Project
山王・飛田・太子・新世界
地域密着型アートプロジェクト
http://breakerproject.net